

“親子そろって陶芸をしよう！Part22”

～作って楽しい、使うともっと楽しい～



毎年恒例“親子そろって陶芸をしよう！”は、今年で22回目となりました。昨年は会場のリニューアル中で開催出来ませんでしたので再開を心待ちにしておられる方もお見えかと思います。

陶芸の面白い所は、粘土を手でこねたり・いじっていると幼い頃多くの方が経験したであろう『泥遊び』を思い出させてくれる所です。それは、人が本来持っている【自然回帰】とも言える行為だと思います。ある記事に、同じ様な事が書かれていました。

幼児期に土に触れることは「本来の自分」を体現します。土という自由に変形する可塑性（※固体に外力を加えて変形させ力を取り去っても元に戻らない性質を言う。）が手を鍛え大脳を刺激します。人生の核を作る（原点にあたる）幼児期に「どろんこあそび」などを体験することは“とても良い”ではなく“子育てに必須”の環境教育の1つとして、取り組まなくてはならない。土との関わり・土に触れることは、人間社会の中で遅く生きる為の必須の要件と言えます。

また認知症の原因はまだ完全に解明されていませんが人間の物を感じ取る五感（センサー）と、大脳の認識力と指令力および手足等の運動器官の三者の連携プレイがうまく働かなくなる事も原因の一つとして考えられています。園芸やガーデニングを楽しむことは、活動性や筋力の維持につながると考えられ、それが血管内皮機能に好影響を与える可能性もあります。

以上の事からも陶芸の良さが伝わったのではないのでしょうか。

更にご自身で作られた陶芸作品は、世界に一つ [Only one] の作品です。料理を盛り食卓を飾ると、新たな食事の楽しみも増え、食欲も増す事でしょう。

また一番のねらいは、親子が【粘土】と言う共通の材料を使い

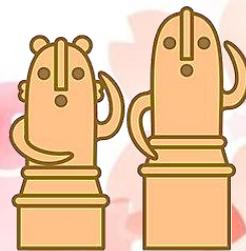
「時に競いながら」「時に語らいながら」おこなう

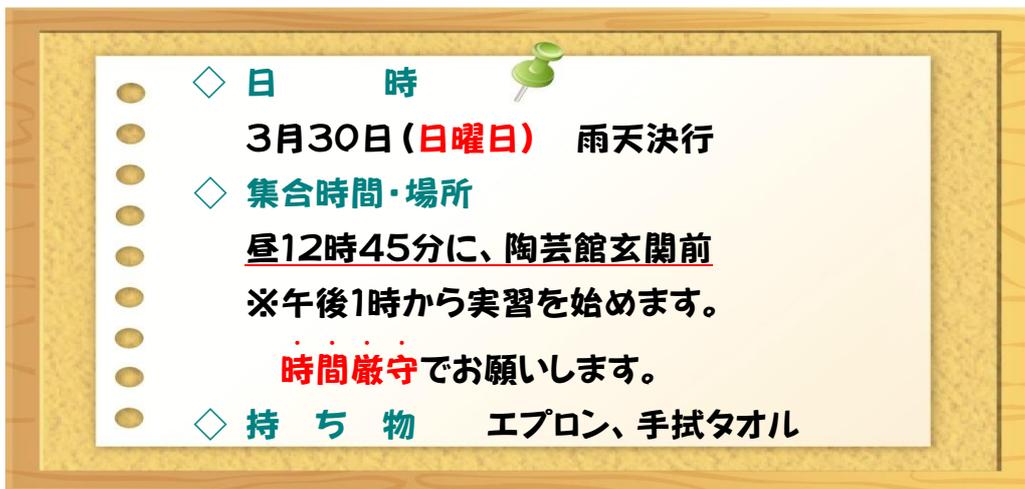
言わば親子の絆を高める事が真の目的です。

ですからこの様な機会にお子様には学ばせる意味でもより多くの方々に参加される事を希望します。

お子様たちとご一緒に、粘土と格闘されるのもご一考かと思います。

「作って楽しい、使うともっと楽しい。」陶芸をぜひ一度体験してみましょう！

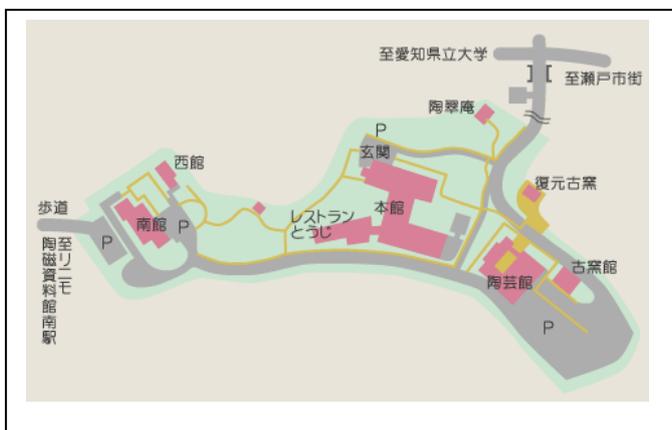




※実習時間は2時間で、延長が出来ません。あらかじめ作りたい物を考えておかれると良いと思います。(作品の大きさは、縦横共に5センチ以上30センチ以下 高さ30センチ以下・厚さ1センチ以下)です。

愛知県陶磁美術館ご案内図

愛知県瀬戸市南山口町 234 Tel(0561)84-7474



- 【自家用車】
 - 東名高速道路名古屋インターチェンジから瀬戸、豊田・足助方面に約10km
 - 東名高速道路日進ジャンクション経由 名古屋瀬戸道路長久手インターチェンジから瀬戸方面に約5km (駐車場無料:250台収容)
- 【電 車】
 - 名古屋駅から地下鉄東山線「藤が丘」駅にてリニモ(東部丘陵線)乗り換え「陶磁資料館南」駅下車 北へ徒歩 600m
- 【名鉄バス】
 - 名鉄瀬戸線 尾張瀬戸駅から約21分(ただし、土曜・休日のみ運行)
 - リニモ「愛・地球博記念公園駅」から約7分

◇お申込方法 電話での受け付けも出来ます。定員になり次第締め切らせて頂きます。
※定員は70名です。

予約開始日:3月1日(土) 午後2時～

◇お問い合わせ先 (090) 1296-4771

予約開始日以降、申込書にご記入の上、3月15日までに参加費を添えて申し込んで下さい。
参加人数等に変更があった場合は、早めにご連絡をお願いします。

◇ 参 加 費

(1) 実習室使用料

《2時間》	一 般	300円
	中学生以下	150円

(2) 焼成料

作 陶	粘土1個 (1Kg)につき	300円
-----	------------------	------

(3) 材料費

粘 土	白 土(1Kg)	400円
	赤 土(1Kg)	450円

例: 家族4人全員が作陶する場合 (大人2名・子供2名) 粘土は1人で1ヶ使用		
実習室使用料 (大人)	300円 × 2名	600円
" (子供)	150円 × 2名	300円
材 料 費 (白 土)	400円 × 4個	1600円
焼 成 料	300円 × 4個	1200円
作品引取り料	450円 × 4個	1800円
合 計		5500円

※実習室使用料は、部屋に入られる方全員(作陶されない場合でも)に掛かります。

※焼成料は、粘土の個数分かります。尚、1個 1kgの粘土で茶碗かマグカップが1つ出来ます。

(粘土が足りない場合、当日追加も出来ます。)

※作品の引き取りに関してですが、施設側の規約により団体は一括引取りという事になりましたので作品の点数並びに大小にかかわらず、引き取り料として、粘土1個につき450円が掛かります。

陶芸トリヴィア! (参加者対象のクイズです。)

※下記の問題に正解されると素敵なギフトを進呈します。ぜひご参加をお待ちしております。



◇ 陶芸に関する三択問題 (解答は別紙の解答用紙へ)

①陶磁美術館はいつ開館しましたか?	A. 昭和53年	B. 昭和57年	C. 昭和60年
②陶磁美術館は誰が建てたの?	A. 隈研吾	B. 谷口吉郎	C. 丹下健三
③陶磁美術館はどこにある?	A. 多治見市	B. 常滑市	C. 瀬戸市
④信楽焼で有名なものは?	A. 狸の焼き物	B. 熊の焼き物	C. 抹茶茶碗
⑤陶器と磁器、硬いのはどっち?	A. 陶器	B. 磁器	C. どちらも同じ

※解答は陶芸当日お知らせします。

